○退職(平成20年3月31日付) ·布村和男 ·浜中清孝 ·山本治(大島総合支所長) 野口菊義(久賀総合支所長) ·吉田芳春 (教育委員会教育次長) (総務部総務課長) (橘総合支所長)

·馬野正文(健康福祉部長) 木村正和

河元サエ子 中村博一(日良居保育所長) 田中進(大島総合支所次長) (教育委員会社会教育課長) (蒲野保育所長)

(東和総合支所地域支援班

·松田米夫

·土川弘幸 (清掃センター管理班長) (白木出張所長)

·金本亥世子(医療保険課

・布村功(清掃センター)

・吉水みどり(油田出張所)

·藤原満弘(福祉課)

·石合芳美(水産課

(久賀給食センター)

・中元つるみ

(大島給食センター)

○課名変更・課内異動 【班長級】

看護師

ンター長 ▼介護保険課地域包括支援セ 池元和江(健康増

> 長) 進課地域包括支援センター 主任保健師 健センター長)▼健康増進課 康増進課久賀保健センター 島本悦子(健康増進課橘保 ▼健康増進課主任保健師 松本千恵子(健

【一般職】

本佳郎 ▼介護保険課 地田幸代 竹本光博 松成智美 西

元仁志

藤元将敬(医療保険

藤本幸一

山根一夫

島

進課 センター (健康

岩崎絢子

松永晴美

センター)後藤康宏 ンター)井上奈美(東和保健 支援センター大島)▼健康増 増進課)▼福祉課子育て支援 行田美穂(東和保健セ 木村敏子(子育て 梅木祐

公営企業局の異動 (平成2年4月1日付

○やすらぎ苑 【異動】( ) 内は旧所属

宇野寿実恵 (橘病院看護長)

【採用】

やすらぎ苑 施設長 石原得博

○東和病院 理学療法士 中村健

看護師 看護師 中村博美 魚谷美波

看護師 事務職員 川口いずみ

○大島病院 ○橘病院 管理栄養士 鴨居正高

看護師 看護師 川野 古市 伊藤礼奈 望 彩

屋敷葉子

○大島看護専門学校 看護師

○さざなみ苑 看護教員 小川律子

○やすらぎ苑 准看護師 中本美晴 介護福祉士 山 本 忍

○居宅おおしま 介護員 吉川秀範 介護支援専門員 政村和徳

【退職】(平成20年3月31日付) )総務部 事務職員 井上雄太 介護支援専門員 伊藤秀将

「非核平和都市宣言」に関する決議

核兵器を廃絶し、恒久平和を実現するこ

とは、周防大島町民の心からの希求である。

また、我が国は、世界唯一の被爆国として、

広島・長崎の惨禍を繰り返さないため、国

民世論の同意のもとに「非核三原則」を国

しかしながら、地球上では地域紛争やテ

口の頻発など、人間の生命の尊厳を踏みに

じる行為が繰り返され、また、核の小型化

が進み、世界の平和と人類の生存に深刻な

脅威をもたらしていることは、全人類のひ

私たち周防大島町議会は、真の恒久平和

を求めるために、非核三原則の完全実施を

願うとともに、核兵器廃絶を訴え、ここに

= 周防大島町議会=

「非核平和都市宣言」をするものである。

是としてきたところである。

としく憂えるところである。

平成 19年 12月 21日

目昭仁 小池譲治 (東和病院整形外科部長) (やすらぎ苑施設長)

、大島病院産婦人科部長、

世界の恒久平和と安全は、人類 共通の願いである。

人類史上初めて広島・長崎に原 爆が投下された核被爆国民とし 核兵器の恐ろしさ、被爆者の 今なお続く苦しみをかみしめ、悲 惨な戦争体験を風化させることな 後世に語り継ぎ、二度と戦争 を引き起こさないよう、生命と平 和の尊さを訴えるものである。

ここに、周防大島町は、日本国 憲法の平和精神に基づき、非核三 原則の遵守を求め、「核兵器廃絶・ 平和自治体」であることを宣言す

平成20年4月1日 = 周防大島町 =

## 核兵器廃絶平和のまち宣言

る。

## 核兵器廃絶平和のまち宣言

町議会においても次のとおり採択されています。 した。なお、昨年の12月に「非核平和都市宣言」に関する決議が 目的として、次のとおり「核兵器廃絶平和のまち」を宣言しま 識し、平和維持の重要性についての意識啓発を推進することを ならない大切な理念であり、核兵器の怖さや平和の尊さを再認 においても非核平和の誓いは、 合併後、 新町スタートから3年半を経過した今、 後世に引き継いでいかなければ 周防大島